

阿部正彦教授 総説リスト

年号	タイトル	著者	掲載	ページ/巻
2007	Direct Evidence on C-C Single Bonding in Single-Wall Carbon Nanohorn Aggregates	Shigenori Utsumi Hiroaki Honda Yoshiyuki Hattori Hirofumi Kanoh Kunimitsu Takahashi Hideki Sakai masahiko Abe Masako Yudasaka Sumio Iijima Katsumi Kaneko	The Journal of Physical Chemistry B LETTERS	2007, 111, 5572-5575
2007	化粧品材料としての可能性 Possibility as Cosmetic Materials	阿部正彦	ファインケミカル	35,(11) 6-14
2006	界面活性剤を利用したエマルションの形成	阿部正彦	静電気学会誌	30(6), 252-257
2006	光や温度で粘度が変わる液体	阿部正彦	Chemistry Today (現代化学)	427, 26-30
2006	化粧品材料としての可能性 Possibility as Cosmetic Materials	阿部正彦	ファインケミカル	35(11) 6-14
2006	光や温度で粘度が変わる液体	阿部正彦	現代化学	No.427 (10月号) p.26-30
2006	身のまわりで活躍する界面活性剤	阿部正彦	化学工学	70(4), 188-192
2004	フェセロン修飾界面活性剤を用いた分子集合体の形成制御と新規無機薄膜作製法の開発	今村 仁, 酒井秀樹 阿部正彦	表面	42(11) 339-351
2004	界面化学的手法を用いた機能性粉体の調製	阿部正彦 酒井秀樹	J.Jpn.Soc. Powder Powder Metallurgy	51(9), 671-679
2003	界面活性剤の溶液物性とコロイド次元分子集合体に関する研究	阿部正彦	オレオサイエンス	3(12), 643-652
2003	制約ナノ溶液の水和構造異常	大久保貴広 加納博文 酒井秀樹 阿部正彦 金子克美	表面	41(10) 346-356
2003	メソポーラス物質を担体とした触媒の調製	山口有朋 湯浅 真 阿部正彦	表面	41(9), 317-323
2003	界面活性剤を使わないでもエマルションはできる	酒井秀樹 大久保貴広 阿部正彦	表面	41(2), 1-8
2003	機能性ナノ微粒子製造に関する一連の特許出願物について	阿部正彦	発明と生活	458, 7-12
2003	やさしい界面現象 第7章 「研究に使う水」	阿部正彦, 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	21,(2) 88-93
2002	やさしい界面現象 第6章 固/固界面の現象	阿部正彦, 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	20(6), 311-316
2002	やさしい界面現象 第5章 固/液界面の現象	阿部正彦, 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	20(5), 262-267
2002	超臨界二酸化炭素流体中への効率的な水の分散	大竹勝人 鷺坂将伸 好野則夫 阿部正彦	表面	40(10), 353-367
2002	超臨界二酸化炭素のバイオナノ材料創製への新展開 - 新規リボソーム調製法の構築 -	大竹勝人 井村知弘 阿部正彦	表面	40(10), 368-381
2002	やさしい界面現象 第4章 気/固界面の現象	阿部正彦 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	20(4), 198-201
2002	水中の油を油で乳化するための超音波照射	阿部正彦	超音波 TECHNO	47-53

2002	やさしい界面現象 第3章 液/液界面の現象(つづき)	阿部正彦 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	20(2), 73-77
2002	やさしい界面現象 第3章 液/液界面の現象(つづき)	阿部正彦 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	20(1), 20-27
2001	やさしい界面現象 第3章 液/液界面の現象	阿部正彦 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	19(6), 299-306
2001	疎水性物質の添加によるサーファクタントフリーエマルジョンの分散安定性	阿部正彦 酒井俊郎	Fragrance Journal	2001-12, 21-29
2001	やさしい界面現象 第2章 - 気/液界面の現象 -	阿部正彦 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	19(5), 229-235
2001	やさしい界面現象 第1章	阿部正彦 酒井秀樹 西山勝廣	Material Technology	19(4), 175-180
2001	時間分解XAFS -物質の構造変化を追跡する-	山口有朋 阿部正彦 湯浅 真 岩澤康裕	表面	39(6), 219-225
2001	オレイン酸の界面化学	酒井裕二 今村 仁 阿部正彦	表面	39(4) 137-145
2001	界面活性剤無添加系エマルジョンの新しい展開	酒井敏郎 加茂川恵司 酒井秀樹 阿部正彦	オレオサイエンス	1(1), 33-46
1999	Synthesis and Applications of Surfactants Containing Fluorine	Masahiko ABE	Current Opinion in Colloid & Interface Science	4(5), 354-356
1999	セラミド脂質を用いたリポソームの調製と機能	井村知弘 酒井秀樹 阿部正彦	FRAGRANCE JOURNAL	1999-10, 58-64
1999	Filtering Organic Solutes from Water	Masahiko ABE Yukishige KONDO	CHEMTECH	29(3), 33-42
1999	ゴムのように伸びる界面活性剤水溶液	阿部正彦 飛田和彦 加茂川恵司 桃澤信幸 酒井秀樹	表面	37(1), 47-58
1998	Anionic Hybrid Surfactant Aqueous Solution with Thermoresponsive Viscoelasticity	Norio YOSHINO Masahiko Abe	New Technology Japan	26(6), 31
1998 /8	サーファクタントフリーエマルジョン	阿部正彦	FRAGRANCE JOURNAL	1998-8 29-41
1998	Macro- and Microemulsions	Masahiko ABE	J.Japan Oil Chemists' Societv	47(9), 819-843
1997	界面電気的手法を用いた電解質イオンの結合定数およびO/W型 マイクロエマルジョンの会合数の定量化(その2) -非イオン界面活性剤の場合-	吉原慶一 阿部正彦	表面	35(3), 167-174
1997	界面電気的手法を用いた電解質イオンの結合定数およびO/W型 マイクロエマルジョンの会合数の定量化 (その1) -イオン性(両性)界面活性剤の場合	吉原慶一 阿部正彦	表面	35(1), 41-53
1996	新規フッ素系界面活性剤の合成と溶液物性	阿部正彦 好野則夫	日本 油化学会誌	45(10), 991-999
1995	はつ水・はつ油性ポリスチレンフィルムの調製	阿部正彦 沢田英夫	表面科学	16(11), 710-714
1995	香料を水に溶かすためには	徳岡由一 阿部正彦	表面	33 (6), 397-404
1995	金属皮膜形成グリースの潤滑効果とその機能	西山勝廣 阿部正彦	Material Technology	13(1), 7-10
1994	ペン紋測定装置による筆記特性評価	阿部正彦 野見山 裕 松川宏一 石嶋 泰 櫻村朝昭 西山勝廣	Material Technology	12(6), 200-203
1994	ペン紋(筆記具の個性)測定装置の開発	阿部正彦 野見山裕 松川宏一 石嶋 泰 櫻村朝昭 西山勝廣	Material Technology	12(5), 161-165
1994	乳化	阿部正彦	Journal of the Japan Society of Colour Material	67(4), 263-272
1994	水道原水中の有害有機物質の分離除去	阿部正彦	化学工業	45(1), 30-35

1993	コロイド次元分子集合体を用いた高次ろ過法	阿部正彦	Adsorption News	7(2), 5-10
1993	ぬれの効果 (微粒子の破壊)	阿部正彦	パウダラー	9(9), 10-13
1993	ぬれの効果 (微粒子の製造)	阿部正彦	パウダラー	9(2), 42-45
1993	ポリマーの表面改質	阿部正彦	パウダラー	9(1), 10-13
1993	多相マイクロエマルジョン形成のシミュレーション	阿部正彦 山崎忠男 抜田亮人	Material Technology	11(1), 6-10
1992	コロイド次元分子集合体	阿部正彦	油化学	41(9), 846-854
1992	石油高次回収に係わるマイクロエマルジョンの調製と物性	荻野圭三 阿部正彦	石油学会誌	35(3), 213-225
1992	エマルジョンに関する最近の進歩	阿部正彦	石油化学	41(2), 117-124
1991	石油高次回収に係わるマイクロエマルジョン形成に関する研究	荻野圭三 阿部正彦	ペテロテック誌	14(8), 736-738
1990	分かりやすい“乳化”の話 -乳化とエマルジョン-	荻野圭三 阿部正彦	SUT Bulletin	1990-2, 12-24
1988	非イオン界面活性剤および種々の界面活性剤混合系による可溶化	阿部正彦 荻野圭三 内山浩孝	表面	26(9), 652-663
1987	界面活性剤による油性物質及び油溶染料の可溶化に関する研究	阿部正彦	油化学	36(8), 549-554
1987	界面活性剤の溶液物性 -液/液分散系-	阿部正彦 荻野圭三	Journal of the Japan Society of Colour Material	60(2), 100-110
1984	石炭分散燃料について	阿部正彦 荻野圭三	粉体と工業	16(8), 25-34